

⑦ (株)ジャパンディスプレイ  
Raelclear(レルクリア)

---

# ⑦ (株)ジャパンディスプレイ Raelclear(レルクリア) (概要)

企業名	株式会社ジャパンディスプレイ
機器・サービス名	透明インターフェイス Raelclear(レルクリア)
問合せ先	株式会社ジャパンディスプレイ 広報部 (電話:03-6732-8364、メール:news.jdi/atmark/j-display.com)(注)スパムメール防止のため「@」を「/atmark/」と表記しています。
機器・サービスの概要	聴覚障害者や、日本語が分からない方が、窓口等で音声認識アプリを利用してコミュニケーションを行う際に、字幕による文字情報だけでなく、相手の表情や仕草などの視覚情報も交えたコミュニケーションを可能とする機器です。
機器・サービスの特徴	<p><b>1. 機器・サービスの機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● レルクリアが持つ唯一無二の2つの特徴により、窓口等の対面コミュニケーションの場で、以下のような効果を得る事ができます。</li> <li>● 1つ目：ガラスのように透明な画面 ガラスのように透明な画面に音声字幕を表示する事で、文字情報に加え、画面越しに相手と視線を交え、お互いを理解しながらコミュニケーションをとる事ができます。</li> <li>● 2つ目：画面の両側から字幕を読むことができる 文字おこしアプリの翻訳機能を利用し、片側に日本語字幕を、もう片側に翻訳字幕を表示する事で、レルクリア上の字幕を介して、それぞれの母国語で異言語間のコミュニケーションをとる事ができます。</li> </ul> <p><b>2. 情報アクセシビリティの配慮内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● レルクリアでは、スマートフォンやPCで動作する数多くの文字おこしアプリでご利用頂く事ができます。これにより、文字の大きさや色、操作性など、個々の利用者にとって使いやすいアプリをそのままレルクリアでご利用頂く事ができます。</li> </ul>

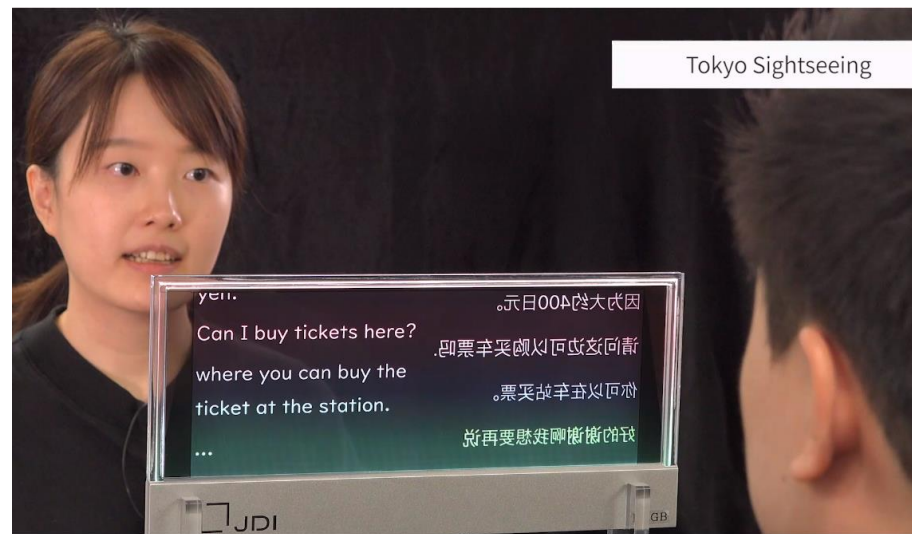
# ⑦ (株)ジャパンディスプレイ Raelclear(レルクリア) (概要)

## 市役所の窓口等での利用イメージ



レルクリア上に、リアルタイムで音声字幕が表示されます。  
レルクリアはガラスのように透明なので、字幕情報を見ながら、画面越しに相手の表情や仕草も見る事ができます。  
結果、相手の様子をより良く理解しながらコミュニケーションをとる事ができます。

## 異言語間コミュニケーションでの利用イメージ



翻訳機能も持った音声認識アプリを利用し、リアルタイムで音声字幕と、翻訳結果をレルクリア上に表示します。  
レルクリアは、両側から表示を視認する事ができる為、対面する二人それぞれに、母国語の字幕を提供する事ができます。  
結果、レルクリアを介して、異言語間のコミュニケーションをとる事ができます。

# ⑦ (株)ジャパンディスプレイ Raelclear(レルクリア) (概要)

## 当事者ニーズを踏まえた開発

レルクリアは、高い透明度と両面表示が可能という唯一無二の特徴を持っています。この特徴は、特に聴覚障害者との対面コミュニケーションの際に有益であると考え、筑波大学デジタルネイチャー研究室との協業を経て、話し声を文字に変換しリアルタイム字幕としてレルクリアに表示するシステムの実現に至りました。

字幕がスマートフォンやPC画面に表示される場合、聞き手の視線は画面に固定され相手を見られず、また話し手は字幕を確認できないといった不便が生じますが、レルクリアでは、聞き手は字幕と画面越しの相手を同一視野で見ることができ、対面する話し手からもレルクリアに表示された字幕を確認できるようになります。研究室にはろうの方も在籍しており、当事者の声が反映されたシステムになっています。

レルクリアのこの活用法には、音声認識アプリを提供している多くの企業が賛同し、現在では10近いアプリがレルクリアの利用に適した表示機能を持ち、利用者の利便性の向上に繋がっています。

当社では、聴覚障害者の方にレルクリアを実際に体験して頂き、ご意見を製品開発に活かしています。ご要望が多い大画面化かつ画質改善した製品を2024年にリリース予定です。

## 企業としての取組

当社は、企業の存在意義は社会貢献にあるとの信念のもと、社会課題に積極的に取り組み、社会価値の創造を目指しています。その一つがレルクリアの活用による「コミュニケーションの壁」を取り払う取組みです。聞こえない/聞こえづらい、日本語がわからない等の理由で「コミュニケーションの壁」に直面し、社会生活の制限を受けている人が居る状況は改善を目指すべきです。

2023年末時点で以下の場所での活用がされており、今後もより多くの場所での利用が進むよう取り組んでまいります。

聴覚障害の視点(日本語字幕表示)

- 自治体:約40の自治体の障害福祉窓口
- 聴覚特別支援学校/聾学校:15程度の学校の教室や学校受付
- 聴覚障害者団体/支援団体:10程度の団体での日頃の活動
- 民間企業:聴覚障害者が在籍する15程度の企業

異言語の視点(翻訳字幕表示)

- ウクライナ避難民受け入れ自治体:10の市町村等の窓口
- 行政機関:5程度の機関の窓口

また、企業活動の重要な情報発信の場であるホームページに関して、2024年に情報アクセシビリティに対応したページにリニューアル予定です。

## ⑦ (株)ジャパンディスプレイ Ræclear(レルクリア) (審査結果)

### 1. 当事者・開発者の視点でみたときに、アクセシビリティ配慮として評価できる点

#### a. 製品が提供する価値

- 発話をリアルタイムに文字化することにより、内容を理解できるだけでなく、透明液晶ディスプレイに表示されるため、お互いの顔を見ながら対面でコミュニケーションすることが可能になる。
- コミュニケーションツールとして日本語がわからない人も含め、多様な人々に利用できる。鉄道駅で実際に使用されており、実績も豊富である。

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- —

### 2. 当事者にとって重要であるが、今後更なる配慮が期待される点(今後期待したい点)

#### a. 製品が提供する価値

- 音声の強弱等の表現ができれば、発話者の感情やその場の雰囲気もわかり、より内容が伝わりやすいのではないか。
- 発話された内容をそのままテキスト化した場合、手話を使用しているろう者にとっては難しく理解できない場合があるため、わかりやすい文章に変換する機能が実現されることを期待する。
- 将来的に、音声を手話に変換してディスプレイに表示できる機能が実現されることを期待する。

#### b. 機能面でのアクセシビリティ配慮

- —



## ⑦ (株)ジャパンディスプレイ Raelclear(レルクリア) (審査結果)

### 3. 当事者ニーズを踏まえた開発について、優れている点

- 開発時に研究室に在籍していた聴覚障害者の意見を反映させるとともに、聴覚障害者に実際に体験してもらい、その意見を開発に活かしている。

### 4. 企業としての取組について、優れている点

- ろう学校、聴覚障害者団体・施設及び聴覚障害者が在籍する企業等における設置、利用の普及に取り組んでいる。
- 企業の存在意義は社会貢献にあるとの信念のもとに、聞こえない/聞こえづらい、日本語がわからない等の理由から生じる「コミュニケーションの壁」の打破に取り組んでいる。